

【OIE 情報】モンゴルにおける口蹄疫（0 型）の発生について
＜血清型が 0 型と確定（更新部下線）＞

モンゴル バヤン・ウルギー県（モンゴル西部）における口蹄疫（0 型）の発生について、2015 年 10 月 16 日付けで OIE へ報告がありましたのでお知らせいたします。

【出典】OIEウェブサイト

2015年10月16日付け：緊急報告

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=18884

2015年11月26日付け：続報2（終報）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=19186

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（緊急報告）
- ・発生日：2015 年 10 月 2 日
- ・OIE への報告日：2015 年 10 月 16 日
- ・血清型：0 型（続報 2（終報）で確定）

【発生状況】

発生場所：バヤン・ウルギー県 Altai soum 郡 3 bag Toshin の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	285	18	0	0	<u>18</u>
羊	1,588	62	0	0	<u>62</u>
山羊	965	10	0	0	<u>10</u>

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・牛、羊、山羊において口蹄疫がモンゴルの西端に位置する高山周辺の小谷（バヤン・ウルギー県のアルタイ地区（soum）の小区域（bag））で発生
- ・発生に対応して、モンゴル西部における地理的な障壁を利用した家畜と家畜製品の移動制限、発生地域の隔離及び臨床徴候のスクリーニングを実施
- ・周辺地域で緊急ワクチン接種を実施
- ・発生はコントロールされている

【対応】

- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・隔離
- ・ゾーニング
- ・発生に対応したワクチン接種実施
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・ 診断施設：State Central Veterinary Laboratory（国立研究所）
 - ・ 診断法：非構造たん白質ELISA、RT-PCR：陽性（2015年10月15日、10月16日）
-
- ・ 診断施設：Russian Research Institute for Animal Health (FGBI-ARRIAH)（OIE リファレンス研究所）
 - ・ 診断法：RT-PCR：陽性（2015年11月3日）

【モンゴルにおける口蹄疫の発生状況（2014年1月～）】

